

2011.AUG

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第33号です。

すばらしい夏。日本の夏。

私は夏が大好きです。パワーリフティングに専念していたときは100kg近い体重でしたので、自分が暑苦しくてそのときだけ夏が嫌いでしたが、釣りに専念するようになってからまたまた夏が大好き少年に戻りました。(～_～;)

船に乗っても私だけタンクトップで日焼けを楽しんでいますし、今、このニュースレターを書いているときのBGMは戸外の蝉の鳴き声がとてもいい。夜中の暴走族の爆音も今では夏の季語のようなものです。砂浜に行って釣りもいいけど泳ぐのもいい。夕方は市民体育館のトレーニング室でサンドバッグを叩いて、ウエイトトレーニングをして大学生

には絶対に負けんと張り合ってます。

私は52歳ですが、梅雨明けからお盆までは夏休み気分です。毎日がウキウキしてます。

そんな子供のような私は、焼鳥屋に行きすぎやう。と言われるくらいよく行ってます。夏の焼鳥と冬の焼鳥は風景が全く違います。さて夏の肉はどうでしょう。次号でお話するアメリカのステーキはこんなにも美味しいのかとこの歳になって初めて味わう味であることも皆さんに少しお伝えしたいと思っております。いろいろな夏をたくさん楽しみましょう!



旅暮らし四方山話。(その23)

Gear-Labの夢の第一歩。約束の地であるアメリカへ、2011ICASTフィッシングショーへ出展しました。

JUNさんと私は先にロスアンゼルスにおいて、Gear-Lab USAスタッフと合流してビジネスとは言いながら、「あれやりたい」「それいいね」「これやろう」「そんなのあり？」とずがずがしいロスアンゼルスを感じながら食う寝る遊ぶ。

真夏のロスアンゼルスって全く暑くなくとても気持ち良い気候です。この大都市は膨れあがるばかりだというのはよく分かります。一方通行10車線のハイウェイはただただ感嘆するだけです。ロスアンゼルス拠点の大きさを毎月行ければとアホなことをボ～っと考えてました。

ロスアンゼルスからラスベガスまで車で5時間の道のり。

写真は広大なモハベ砂漠です。もっといくと西部劇にいつでもでてくるサボテンがあって、夕日のガンマンや荒野の七人、シェーンの風景が目の当たりにあって良さそうな雰囲気です。

ラスベガスのストリップ通りに面したホテルフラミンゴに



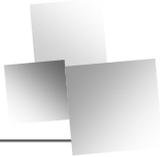
チェックイン。早速コンベンションセンター

で出展準備です。今回Gear-Lab USAができたことによって出展はとてもスムーズにいきました。Gear-Labの出展はEZリッター、ROCK、セブンスライド、そして新製品のカラマリ。それにしても大きな会場です。68カ国から約500社の出展ですが、日本と違うのは、ゲストは一般の釣り人はいません。

(右上につづく)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとられない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。





世界中から釣具バイヤーがやってくるといった点です。会場は不思議とアングロサクソンの白人が多いことに気がつきます。次にアジア系です。何故か黒人は微少でした。そこに立派なアジア人、エイゴ堪能な橋本さん合流。いろんなバイヤーからEZノッターは非常に高い評価を得たのですが、大きな勉強になりました。

今回ICASTアワードに申し込んでいなかったので来年のフロリダ、オーランドで開催されるICASTアワードは絶対に手中にするぞ！そしてメディアシャワーをトコトン浴びるぞと堅く決心しました。

フロリダ。フロリダ。

大西洋側でカジキマグロ。メキシコ湾側でイエローテイルやカンパチ。 クククッ…。>^_^<

……んっ？ 単に釣りに行きたいだけやんけ。

いえいえ。ビジネスです。ビジネス。でも、ビジネスは現場を知らないとな。 (´ 0´) \ (ー;) バキッ!

会場ではまたまた面白い釣具を見つけました。Gear-Labが日本の代理店権をいただき9月リリース予定です。

ICASTで十分に勉強させていただき、カジノで泣いて、肉食べて喜んで、007気分の私はベスパーマティーニで酔っぱらって、バカでかいBassProShopで釣具をあさって一路ロスアンゼルスへのトレンスに戻りました。翌朝メキシコ国境の街サンディエゴに向かいます。

その途中で幾多のLANDING (釣り船などがとまる港)を見てきました。マリーナレジャーが大きな産業となっているアメリカは日本とは大違いです。中古艇もたくさんあって安いし、サイズも大きい。

Gear-Labスタッフの4人はあの船を買って日本に持ち帰ろうといった話ばかりしてます。

でもそれくらい船を買うのは現実的なんです。

U.S.リールとセブンスライド快調です。

なんでこんなに釣れるんだろうと、私は毎週美味しい真鯛にありついていきます。U.S.リールはどんな大物真鯛でも安心して取り込み可能ですし、セブンスライドは少しの改良をして私だけ爆釣を続けています。

仕掛け部分はオリジナルそのものですがオモリに大きな改良をしています。リリースまで、どうぞ期待ください。



株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092 - 663 - 5196

Fax 092 - 663 - 5102

Mail NQE50210@nifty . Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(。~)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com



お気楽DETCHこと福山でした